

- ◆企画名 お好み好きやねん！～関大焼・商い中～
日 程 平成 23 年 5 月 27 日（金）
場 所 総合学生会館凜風館 2 階 食堂
参加者数 23 名（ピア・サポータ 9 名、一般学生 14 名）
目 的

主な目的は、新入生歓迎の意味を込め、本学が位置する大阪府の郷土料理である「お好み焼き」を共同で作って、大阪の文化を味わい、親しみをもってもらうことである。

さらに、他学部や他学年の学生と共同で作業することを通して、交流の機会を提供し、関西大学に馴染むこと、関西大学生としての帰属意識を高めることも狙いとする。

内 容

献立はお好み焼き、味噌汁である。参加者は生協の方に調理のコツなど質問しながら、和気あいあいとそれぞれの作業に取り組んでいた。調理に少し時間がかかったため、予定時間より試食を始める時間が遅れたが、試食が終わった後、各自協力しながら速やかに片付けを終えたため、全体として予定通りの時間に企画を閉会することができた。

感 想

準備期間について、書類の提出が遅れてしまったため広報の期間が短くなり、一般学生の参加数が少なかった。アンケート結果を参照すると過半数の学生から「また参加したい」との意見を聞くことができ、需要のある企画であったと考えられるので残念である。

お好み焼きを自らの手で作り、味わうことで、本企画の“関西大学が位置する大阪府の文化に親しみをもってもらう”という目的は達成できたと思う。また、参加者は学部、学年に関わらず談笑しながら和やかなムードの中、調理を行っていた。新入生には関西大学に親しみをもつきっかけに、上回生には関西大学生としての帰属意識を持つきっかけになったのでは、と考える。

前回同様、留学生の参加があったり、さまざまな学年、学部の学生の参加があったり、多様な学生と交流し合える機会となった。また、大阪の文化の話に加え、自分の郷土の話をしている学生たちも見受けられ、地域の文化について興味をもつきっかけになる有意義な取り組みであったと考える。

改善点

【企画当日まで】

- ・書類提出が遅れた。→各書類を提出するスケジュールを先に定める。
- ・もっと早い段階で広報を始めるべきだった。→一週間以上は広報する期間を設ける。
- ・企画実施日間に調理器具が足りないことが発覚し、生協の方に一部調理器具を渡すことが遅れた。→複数回、事前準備物について確認する。
- ・調理器具に不備が無いか念入りに確認していなかった。→一つ一つ器具が使えるものかどうか確認する。

【企画当日】

- ・当日の役割について把握していないサポータがいた。→直前ミーティングを行い、当日の役割、企画の流れを確認する時間を設ける。
- ・事前にサポータがレシピを確認しておらず、一般参加者に作業を促すことができなかった。→サポータ全員でレシピ内容を確認する時間を設ける。
- ・班内でしか交流する機会がなかった。→試食を全員で行うなどして、班を越えて交流できるよう工夫する。